

# 高濃度酸素発生器 O2リカバリー

## V3 OC-3TS

## V5 OC-5TS



### 脳の酸素消費量

脳は体全体の酸素消費量の内、約25%もの酸素を消費しています。又、脳は筋肉などに比べ酸素を貯蔵できないため酸素不足に敏感に反応しすぐに酸欠状態を起こします。1日に体全体で消費される酸素の量は1日2000リットル、ドラム缶10本分といわれています。

### 空気中の酸素濃度

窒素78%、酸素21%、それにわずかな二酸化炭素と水蒸気、アルゴンなどでできています。

### なぜ高濃度酸素は必要か

酸素濃度90%の酸素発生器と酸素濃度30%の酸素発生器との比較

酸素濃度90%の酸素を供給したとしても、実際に吸入する酸素濃度は90%とはなりません。周りの空気はかなり薄められて、酸素濃度は想像以上に低くなります。

たとえば、酸素濃度90%の酸素を1分間に3リットル供給する機械で、鼻腔カニューラを使用して吸入したとしても、気道に入ってくる酸素濃度は30%程度にしかなりません。同様に、酸素濃度30%の酸素を1分間に2リットルで流した場合はおよそ22%の濃度になると考えられます。大気中の酸素濃度が21%ですから、1%前後しか濃度が上がらないことになります。

つまり周りの空気と混合されて濃度が低下されることを想定すると90%の酸素が必要だということです。

スポーツ(男性)	最大酸素消費量 (1分間に付き体重1kgあたりの酸素量)
歩行(3~6km/h)	9~18cc
トライアスロン	70~94cc
長距離走	65~85cc
自転車競走	55~70cc
フットボール	45~64cc
野球	45~55cc
テニス	45~56cc

製品仕様 型式	酸素 流量	酸素 濃度	酸素圧 Mpa	Noise	SIZE	重量	電源 仕様	電力
O2リカバリー V3 OC-3TS	0~ 3l/min	90% ±3%	0.03~ 0.07	< 39dB	390×337× 620mm	21 kg	100v 50/60hz	350w
O2リカバリー V5 OC-5TS	0~ 5l/min	90% ±3%	0.03~ 0.07	< 39dB	390×337× 620mm	21 kg	100v 50/60hz	350w

付加機能：タイマー(10分刻み、最高5時間)